

神奈川県立県民ホール本館のあり方に係る
予備調査業務委託結果の概要
(委託業者の報告書からの抜粋・要約)

令和6年6月

文化スポーツ観光局文化課

目 次

1	予備調査業務委託の概要	1
2	県民ホールの概要	1
3	調査結果	2
4	試算パターン案の設定	3
5	試算パターンごとの概算建設費の比較	4

1 予備調査業務委託の概要

(1) 業務の目的

神奈川県立県民ホール（本館）（以下「県民ホール」という。）は、昭和 50 年の開館から国内外のオペラやバレエなど大型公演の開催から、神奈川県美術展のように県民が文化芸術活動を行う場としても広く活用されており、神奈川県文化芸術の拠点となる施設として重要な役割を担ってきた。しかし、開館から 50 年近く経過し施設の老朽化により令和 7 年 3 月をもって休館することとしており、今後のあり方を検討する必要がある。

そこで、県民ホールの今後あり方を検討するに当たって基礎資料となる情報の収集・試算・分析などを行う予備調査を委託により実施した。

(2) 調査期間 令和 5 年 9 月 19 日～令和 6 年 3 月 25 日

(3) 主な業務内容

ア 調査業務

- ・ 類似施設の調査分析による県民ホールの特徴
- ・ 現在の施設等の課題
- ・ 観客(利用者)等の動向調査

イ 試算パターン案の設定

ウ 試算パターンごとの概算建設費の比較

2 県民ホールの概要

所在地	横浜市中区山下町 3 番地の 1
面積	敷地面積 10,946.33 m ² 建築面積 5,485.82 m ² 延床面積 28,476.59 m ²
高さ	35.5m
大ホール	最大 2,493 人 3 層構造 楽屋 8 室
小ホール	収容 433 人 パイプオルガン 楽屋 2 室
ギャラリー	5 展示室
会議室	大会議室 (240 人) 小会議室 (24 人)
駐車施設	屋内駐車場 73 台、屋外駐車場 19 台
食堂	200 席 (6 階)
喫茶室	24 席 (2 階)

3 調査結果

(1) 類似施設の調査分析による県民ホールの特徴

- ・ 全国で見ても 2,000 席を超えるホールは貴重
- ・ 2,000 席規模のホールとして、ポップス音楽等を含めた幅広いエンタテインメント市場を支えている
- ・ 本格的な舞台芸術の鑑賞環境を提供する役割を担う
- ・ 自主事業（21%）と貸館事業（79%）の割合（平成 30 年度）（幅広い催事に利用されている）
- ・ ホール・ギャラリーはともにコロナ禍以前は 90%を超える年度もあるなど高稼働で推移

(2) 現在の施設等の課題（ヒアリング結果）

- ・ バリアフリー対応が必要
- ・ 県内に県民ホールに代わる施設がない
- ・ 大ホールと中規模ホールの棲み分けの必要性（1,000席程度の中ホールを設け、中規模催事（来場者1,000名程度）のために現在大ホールを使用している団体の受け皿とすることで、大ホールを真に必要とする利用者に、より多くの機会を提供することが可能に）
- ・ 県内に同規模の広さを持つギャラリーはなく、天井の高さも多様な展示に適している
- ・ 多様な形態の展示に対応できるギャラリー空間の必要性

※ 現在の施設等の課題に係るヒアリング対象者（計 9 者）

文化施設運営団体、ポップス系音楽公演主催者×3、舞台芸術系公演主催者、学生の演奏会主催団体、クラシック音楽系上演団体、高校生による美術展を主催する団体、大学生による美術展を主催する団体

(3) 観客（利用者）等の動向調査

- ・ ライブ・エンタテインメント需要は拡大傾向が続いている
- ・ 神奈川県は音楽ジャンルで全国 3 位の市場規模。ポップスでは、全国に占める割合は10%相当に達する（令和 4 年）
- ・ オペラの市場規模で神奈川県が全国に占める割合は令和元年には約10%に迫る。首都圏では東京に次いで 2 位の規模
- ・ 将来、人口減少を受けてもなお、市場は成長傾向にあり、一定の需要を保つことが予想される

4 試算パターン案の設定

調査業務において、ヒアリング等の結果をもとに、委託業者が以下の3案をパターン案として設定し、モデルプラン・延床面積及び建築費の概算等を作成

	案1	案2	案3
考え方	<p>■大ホール:大規模催事や興行利用を促進できる席数を確保</p> <p>■中ホール:大ホールを1,000人未満で利用していた催事を誘導し、県民利用を促進</p> <p>■ギャラリー:スタジオ等の多用途に利用できる機能を確保</p> <p>■創造部門:舞台作品創作や演奏活動の拠点として十分な面積を確保</p>	<p>■大ホール:大規模催事や興行利用を促進できる席数を確保</p> <p>■中ホール:大ホールを1,000人未満で利用していた催事を誘導し、県民利用を促進</p> <p>■ギャラリー:一部スタジオ等の多用途に利用できる機能を確保</p> <p>■創造部門:舞台作品創作や演奏活動に必要な面積を確保</p>	<p>■大ホール:設置しない</p> <p>■中ホール:大ホールを設置せず、中ホールのみを設置</p> <p>■ギャラリー:設置しない</p> <p>■創造部門:ホール機能に付随する最低限の機能を確保</p>
大ホール	2,200席 (↓)	2,000席 (↓)	設置しない
中ホール	1,000席 (↑)	1,000席 (↑)	1,000席 (↑)
ギャラリー	大(500㎡)、中(400㎡)、小(300㎡) (↓)	大(500㎡)、中(300㎡)、小(200㎡) (↓)	設置しない
創造部門	大リハーサル室(400㎡)、中リハーサル室(300㎡)、製作場等諸室 (↑)	大リハーサル室(400㎡)、中リハーサル室(300㎡) (↑)	中リハーサル室(300㎡) (↑)
レストラン・カフェ	レストラン・カフェ (↓)	カフェ (↓)	カフェ (↓)
駐車場	120台 (↑)	100台 (↓)	40台 (↓)

※ () 内の「↑」は現行ホールと規模等を比較した大小

5 試算パターンごとの概算建設費の比較

	案1	案2	案3
延床面積	34,100 m ²	29,500 m ²	11,800 m ²
建設費	409 億円	354 億円	142 億円
設計・監理費	33 億円	28 億円	11 億円
消費税	44 億円	38 億円	15 億円
総額（税込）	486 億円 (6.1 億円)	420 億円 (5.3 億円)	168 億円 (2.1 億円)

※ （建設費） = （延床面積） × （平米単価：120 万円/m²）

※ （ ）内は建設後、80年維持を想定した場合の年割額

【参考】大規模改修費の試算（概算）

大規模改修の概算改修費：312 億円（10.4 億円）

※ 改修費（税込）に設計費・工事監理コストを上乗せした金額

※ （ ）内は大規模改修後、30年維持を想定した場合の年割額